

コード	40203
作成年度	21 年度

基本事業評価表

基本事業名称	農業生産性の向上
--------	----------

総合計画の位置付け	
政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保
施策名称	農林業の振興

課コード	115		関係課名					
主管課名	農林課							
基 本 事 業 の 目 的								
地場産品の生産強化を図り、安全で安心な地元の農産物を地元で消費する「地産地消」の振興を図るとともに、給食センター等の大口消費先と連携するなど、安定供給体制づくりに努める。農産物被害の予防のため有害鳥獣を捕獲するとともに、その有効活用を図ることを目的とする。								
基 本 事 業 の 成 果								
成果指標名称 1			販売農家戸数			成果指標名称 2		
成果指標の積算根拠			販売農家戸数(実績)/目標			成果指標の積算根拠		
目標達成年度			平成21年度			目標達成年度		
目標達成数値			240			目標達成数値		
年 度			H17		H18		H19	H20 H21
成 果 指標1	目標 A	単位	戸	240	240	240	240	240
	実績 B		戸	212	202	215	220	
	達成率 B/A		%	88.3	84.2	89.6	91.7	
成 果 指標2	目標 A	単位						
	実績 B							
	達成率 B/A		%					
1次評価	現状	島内農産物として、直売所を利用した「トマト、キュウリ、イチゴ、アスパラガス」のハウス栽培技術の向上、また、季節における露地物(旬物)の食べ方を生活研究グループが、メル・カピィを中心とし実施している。さらに給食センターと連携し、町学校給食センター運営委員会で利用者、保護者、運営者の意見を聞きながら対応できる施策を模索している。						
	課題	安全・安心は容易にはできない。生産者は消費者の立場に立ち、消費者は生産者の立場に立って地産地消の確立を目指すなければならない。						
	改善	安全安心は、安いものより大切なものであることの啓発普及と、大口消費に対する出荷調整ができる組織作りと施設整備が必要である。また生産組織への栽培講習会・現地指導を通じ、「農業の安全使用」、「生産履歴の記帳」についても指導を行う。						
2次評価		販売農家戸数は微増しているが、目指すところの経営の協業化や集团的・共同的な生産組織の育成に結びついていない。生産者の組織化の可否を検討すること。また生産意欲に結びつく「地消」のシステムを構築していくこと。						
住民等の意見								
町の対応								

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。